

日本結核病学会東海支部学会

—— 第113回総会演説抄録 ——

平成21年6月27・28日 於 名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール）（名古屋市）

（第95回日本呼吸器学会東海地方学会と合同開催）

会長 服部 良信（藤田保健衛生大学医学部呼吸器外科）

——一般演題——

1. 度々診断の遅延がみられる気管支結核女性例 °柏木秀雄（済生会明和病呼吸器）井端英憲（NHO三重中央医療センター呼吸器）

診断遅延（患者側PD、医療側DD）をきたした女性例を報告した。①22歳、中国人実習生。*rII2*, CT右主気管支（MB）狭窄（+）、痰S（+4）。BFS、気管（T）結節（+）、右MB狭窄（+2）、ポリープ肉芽腫（+）。7カ月後バルーン拡張術。2カ月間のPD。8カ月後帰国。②42歳、主婦。*IIM2*, CT左MB狭窄（+）、痰S（+6）。BFS、T結節（+）、左MBと左上葉口黄白苔（+）、BAL S（+8）。6カ月後治癒、7カ月のPD、2カ月のDD。③80歳、海女。*IIM2*, 痰S（+9）、BFS、T潰瘍（+）、左上葉口黄白苔（+）、舌区入口部狭窄（+）、BAL S（+）。3カ月のDD。軽快。④10年間に男12例、女27例治療、確定診断まで1カ月以内33%，2～5カ月40%。実地医家の診断名は感冒等が多数。

2. PETにて偶然発見された肺結核の1例 °小林 哲

・浦和昌史・内藤雅大・藤原篤司・高木健裕・蛇名愛子・小林裕康・田口 修（三重大医附属病呼吸器内ガバザ・エステバン（三重大医生体防衛医学）

患者は51歳女性。甲状腺腫大で良悪性鑑別の目的でPET-CT検査を受ける。左上葉に陽性所見が見られ呼吸器内科紹介受診。胃液検査でPCR含め結核菌陰性も8週間で培養陽性となり結核菌と確認。PET-CTの結核診断について若干の考察を加えて報告した。

3. 肺MAC症の主要な原因菌である *Mycobacterium avium* に関する遺伝子研究の進展 °小川賢二・市川和哉・稻垣孝行・中川 拓（NHO東名古屋病呼吸器）遺伝子挿入配列やHeat shock protein 65を用いた亜種分類を行い、臨床分離株はすべて *subsp. hominissuis* であることを確認した。また、約70%の株が *ISMav6* という新しい挿入配列をもつことを見出した。また、*ISMav6* はヒトに対する病原性と関連することが示唆された。